

4. 照明デザイン

●常盤・出島地区照明デザイン

- 場所の印象を高めるために、暖かみのある白を基調としたアクティブな照明の演出。
- 全体を4つにゾーニングし、それぞれの特性に応じた照明施設を整備。

【メインゲート】



【水辺の公園レストラン・あじさい橋】



【全体照明】



【水の劇場】



【中央水路周辺】



●女神大橋ライトアップ

- 照明デザインをプロポーザルコンペにより決定。
- 長崎水辺の森公園や船からの見え方に配慮。



●女神のトーチ

- 女神大橋の軸方向を意識した照明施設。
- 橋梁との関連性が強い照明であることを踏まえ、橋梁デザイン（斜張橋）にあわせたデザイン。



常盤・出島地区照明デザイン

■施設の概要

- ・照明の種類：39種類
- ・照明灯の数量：679灯

■アーバンデザインの観点から意図したこと

【基本的な考え方】

- 創造性：長崎に新しい光の名所の創造。
- 景観性：長崎港全体の夜間景観の充実。
- 未来性：新しい光技術や自然エネルギーなどの活用。
- 公共性：公共のものとして堅固で維持管理に配慮。

【ゾーニング】

- ドラマチックパークゾーン：舞舞劇場、月の舞台、イベント用エリアなどのつくりや、丘の起伏、樹木、ガゼボなどの景観を生かした照明計画。
- ナチュラルパークゾーン：海沿いのプロムナードや静かな入り江の雰囲気を生かした照明計画。
- 港機能ゾーン：埠頭エリアの安全と機能を考慮しながら、出島ワープからの動線となるような照明計画。
- 道路および接道ゾーン：歩行者と運転者への安全性や機能性を考慮し、またシーサイドパークやその周辺への適切なアプローチとなる照明計画。

【常盤・出島地区照明デザイン 全体計画図】

